

旅行取扱状況の概観（平成29年3月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比99.0%と前年から微減となり、学生団体は同119.8%と前年を上回り、団体旅行合計で同108.6%と前年を上回った。企画旅行については前年比111.1%と前年を上回り、個人旅行については同109.7%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比110.1%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比113.1%と前年を上回り、学生団体は同102.0%と前年を上回り、団体旅行合計で同108.2%と前年を上回った。企画旅行については前年比95.5%と前年を下回り、個人旅行については同93.6%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比97.5%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比176.2%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は前年比107.7%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は取扱人数においては減少したが、取扱単価の増加などにより、前年比100.0%と前年並となった。学生団体は修学旅行においてはほぼ前年並であったが、語学研修などの修学旅行外の取扱人数の増加などにより、同119.9%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で同109.3%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体は企業系コンベンションやイベント団体参拝の増加などにより、前年比112.7%と前年を大きく上回った。学生団体は各種スポーツ大会関係や研修旅行などの取扱人数の増加などにより、同102.1%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で同107.9%と前年を上回った。

外国人旅行はスポーツイベントなどの取扱人数の増加により、前年比177.0%と前年を大きく上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、沖縄、中国四国、信州方面などは前年を上回ったが、他の方面が伸び悩み取扱額で前年比88.2%と前年を下回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、ミクロネシア、台湾方面などが伸び悩んだが、アメリカ、ヨーロッパ、その他のアジア方面を中心に他の方面は前年を上回り、取扱額で同109.3%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、カナダ・アラスカ方面など不振な方面もあったが、ヨーロッパ方面のイタリア・スペイン・フランス・エジプトが好調に推移するなど、テロの影響から復調がみられ、前年比111.7%と前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、道南方面の新幹線開通効果が弱まるなど不調な方面もあったが、北海道の流氷商品や北関東、関西、東海、伊勢などの方面が堅調に推移し、前年比102.4%と前年を上回った。

バス旅行部門は、軽井沢バス事故の影響による不振から復調傾向がみられ、前年比105.4%と前年を上回った。

テーマ旅行部門は、国内旅行、海外旅行共に見学施設の貸切企画などが堅調に推移し、前年比106.8%と前年を上回った。

以上